

メッセージ題「神の言葉を語る」 <先週の講壇より>

「すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。」使 2:4

バベルの塔の出来事によって言葉が乱された人間は、混乱という悲しい歴史を刻むこととなっていきます。しかしイエス様の十字架と復活、そして聖霊の働きは、混乱した人と人、として人と神様を結び付け、愛と平和を実現することのできる者へと変えてくださいました。だから私たちは自分勝手な言葉をぶつけ合うのではなく、神様の愛の言葉を語り合い、思い合い、愛し合いながら、教会も家族もお互いの人間関係も結び合うことが出来るのです。

先日行われた東京オリンピックの陸上 800 メートルでは、アメリカの選手とボツワナの選手が接触して転倒するというハプニングが起きました。しかし転倒した彼らはお互いに手を取り合って立ち上がり、声を掛け合い、肩を組んで歩きだし、ゆっくりとゴールを目指したのです。

国が違い、言葉が違っていても、同じゴールを見据えているなら、分かり合うことが出来る。そう、イエス様にあって永遠を目指すなら私たちの人間関係にそういうことが起こるのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



#### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

#### 《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

#### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

# 2021 年 8 月 15 日

## オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



#### 【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

#### ☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40  
ブレイク : 10:45-11:00  
バイスタ : 11:00-12:00  
みふみ会 : (水) 10:00-  
定例祈祷会 : (水) 18:30-

